

1 さて祭司インメルの子で、主の宮のつかさの長であったパシユルは、エレミヤがこれらの事を預言するのを聞いた。
 2 そしてパシユルは預言者エレミヤを打ち、主の宮にある上のベニヤミンの門の足かせにつないだ。
 3 その翌日パシユルがエレミヤを足かせから解き放した時、エレミヤは彼に言った、「主はあなたの名をパシユルとは呼ばないで、『恐れが周囲にある』と呼ばれる。
 4 主はこう仰せられる、見よ、私はあなたを、あなた自身とあなたのすべての友だちに恐れを起させる者とする。彼らはあなたが見ている目の前で敵のつるぎに倒れる。私はまたユダのすべての民をバビロン王の手に渡す。彼は彼らを持ってバビロンに移し、つるぎをもつて殺す。
 5 私はまたこの町のすべての富と、その獲たすべての物と、そのすべての貴重な物と、ユダの王たちのすべての宝物をその敵の手に渡す。彼らはこれをかすめ、民を捕えてバビロンに移す。
 6 パシユルよ、あなたと、あなたの家に住む者とはみな捕え移される。あなたはバビロンに行つて、その所で死に、その所に葬られる。あなたも、あなたが偽って預言した言葉に聞き従つた友もみなそのようになる。」

為預言に因き従つた

祭司パシユル
バビロン捕囚

26:39
 27:14
 28:42
 (31:18-11)

25:14

(バビロン)

7 主よ、あなたが私を欺かれたので、私はその欺きに従いました。あなたは私よりも強いので、私を説き伏せられたのです。私は一日中、物笑いとなり、人はみな私をあざけります。
 「暴虐、滅亡」と叫ぶからです。主の言葉が一日中、わが身のはずかしめと、あざけりになるからです。もし私が、「主のことは、重ねて言わない、このうえその名によつて語る事はしない」と言えば、主の言葉が私の心にあつて、燃える火のわが骨のうちに閉じこめられているようで、それを押えるのに疲れはてて、耐えることができません。
 10 多くの人のささやくのを聞くからです。恐れが四方にあります。
 「告発せよ。さあ、彼を告発しよう」と言つて、わが親しい友は皆私をつまずくのを、うかがっています。また、「彼は欺かれるだろう。そのとき、われわれは彼に勝つて、あだを返すことができる」と言います。
 11 しかし主は強い勇士のように私と共におられる。それゆえ、私に迫りくる者はつまずき、私に打ち勝つことはできない。彼らは、なし遂げることができなくて、大いに恥をかく。
 その恥は、いつまでも忘れられることはない。
 12 正しき者を試み、人の心と思いを見られる万軍の主よ、あなたが彼らに、あだを返されるのを見せてください。私はあなたに、私の訴えをお任せしたからです。
 13 主に向かつて歌い、主をほめたたえよ。主は貧しい者の命を、悪人の手から救われたからである。
 14 私の生れた日はのろわれよ。母が私を産んだ日は祝福を受けるな。
 15 私の父に「男の子が、生まれました」と告げて、彼を大いに喜ばせた人は、のろわれよ。
 16 その人は、主のあわれみを受けることなく、滅ぼされた町のようになれ。朝には、彼に叫びを聞かせ、昼には戦いの声を聞かせよ。
 17 彼が私を胎内で殺さず、わが母を私の墓場となさず、その胎をいつまでも大きくしなかつたからである。
 18 なにゆえに私は胎内を出てきて、悩みと悲しみに会い、恥を受けて一生を過ごすのか。

エレミヤの苦しみ



ネブカデネザルに
田は滅せしむ。

21

1ゼデキヤ王は、マルキヤの子バシユルと祭司マアセヤの子ゼパニヤを、エレミヤのもとにつかわし、
 2「**バビロンの王ネブカデレザルがわれわれを攻めようとして**いるゆえ、われわれのために主に尋ねてほしい。主はそのもろもろの不思議なわざをもって、われわれを助け、バビロンの王をわれわれから退かせられるかも知れない」と言わせた。その時、主の言葉がエレミヤに臨んだ。
 3エレミヤは彼らに答えて言った、「あなたがたはゼデキヤにこのように言いなさい、
 4「イスラエルの神、主はこう仰せられる、見よ、あなたがたが、この城壁の外にあつて、あなたがたを攻め囲むバビロンの王およびカルデヤびとと戦うとき、私はあなたがたの手に持っている武器をとりあげ、これを町の中に集めさせる。
 5私は手を伸べ、強い腕をもって、怒り、憤り、激しく怒つて、あなたがたを攻める。
 6私はまたこの町に住む人と獣とを撃つ。彼らはみな重い疫病にかかつて死ぬ。
 7主は言われる、この後、私はユダの王ゼデキヤとその家来たち、および疫病と、つるぎと、ききんを免れて、この町に残っている民を、**バビロンの王ネブカデレザルの手と**、その敵の手、およびその命を求める者の手に渡す。バビロンの王はつるぎの刃にかけて彼らを撃ち、彼らを惜しまず、顧みず、またあわれむこともしない」。
 8あなたはまたこの民に言いなさい、「主はこう仰せられる、見よ、私は命の道と死の道とをあなたがたの前に置く。
 9この町にとどまる者は、つるぎと、ききんと、疫病とで死ぬ。しかし、出て行つて、あなたがたを攻め囲んでいるカルデヤびとに降伏する者は死を免れ、その命は自分のぶんどり物となる。
 10主は言われる、私がこの町に顔を向けたのは幸を与えるためではなく、災を与えるためである。この町はバビロンの王の手に渡される。彼は火をもって、これを焼き払う」。

主を知らぬ 不正 不義
アダムが罪。

22

11またユダの王の家に言いなさい、「**主の言葉を聞きなさい**。
 12ダビデの家よ、主はこう仰せられる、朝ごとに、**正しいさばき**を行い、
 物を奪われた人をしえたげる者の手から救え。そうしないと、あなたがたの悪い行いのために、私の怒りは火のように燃えて、それを消すことはできない」。
 13「主は言われる、谷に住む者よ、平原の岩よ、見よ、私はあなたに敵する。
 あなたがたは言う、
 「だれが下つてきて、われわれを攻めるものか、だれがわれわれのいる所に、はいるものか」と。
 14私はあなたがたを、
 その行いの実によつて罰する。
 またその林に火をつけて、
 その周囲のものをみな焼き尽すと、主は言われる」。
 22
 1主はこう言われる、「ユダの王の家に下り、その所にこの言葉をのべて、
 2言いなさい、「**ダビデの位にすわるユダの王よ**、あなたと、あなたの家臣、および、この門からはいるあなたの民は**主の言葉を聞きなさい**。
 3主はこう言われる、公平と正義を行い、物を奪われた人を、しえたげる者の手から救い、異邦の人、孤児、寡婦を悩まし、しえたげてはならない。またこの所に、罪なき者の血を流してはならない。
 4もしあなたがたがこの言葉を真実に行うならば、**ダビデの位にすわる王とその家臣**、およびその民は、車と馬に乗つて、この家の門にはいることができる。
 5しかしあなたがたがこの言葉を聞かないならば、私は自身をさして誓うが、この家は荒地地となると、主は言われる。
 6主はユダの王の家についでこう言われる、あなたは私に對してギレアデのようであり、
 レバノンの頂のようである。
 しかし、私は必ずあなたを荒地地にし、人の住まない町にする。
 7私は滅ぼす者を設けて、あなたを攻めさせる、彼らはおのおのその武器をとり、
 あなたの麗しい香柏を切り倒し、
 火に投げ入れる。
 8多くの国の人はこの町を過ぎ、互に語つて、「なぜ主はこの大いなる町をこのようにされたのか」と言うとき、
 9人は答えて、「これは彼らとその神、主の契約を捨てて他の神々を拜し、これに仕えたからである」と言うであろう」。
 10死んだ者のために泣くことなく、
 またそのために嘆いてはならない。
 捕え移されてゆく者のために、激しく泣け。
 彼はふたたび帰つてきて、
 その故郷を見ることがないからである。

南が子(南)は
火で焼がれ

主のことばを聞き
正義をなす



エジプトへ

11 ユダの王ヨシヤの子シャルムは父ヨシヤについて王となつたが、ついにこの所から出て行つた。主は彼についてこう言われる、「彼は再びここに帰らない。」
 12 彼はその捕えられた所で死に、再びこの地を見ない。」

13 「不義をもつてその家を建て、不法をもつてその高殿を造り、隣り人を雇つて何をも与えず、その賃金を払わない者はわざわいである。」

14 彼は言う、「私は自分のために大きな家を建て、広い高殿を造らう」と。

そしてこれがために窓を造り、香柏の鏡板でおおい、それを朱で塗る。

15 あなたは競つて香柏を用いることによつて、王であると思ふのか。

あなたの父は食い飲みし、

公平と正義を行つて、幸を得たのではないか。

16 彼は貧しい人と乏しい人の訴えをただして、さいわいを得た。

こうすることが私を知ることではないかと主は言われる。

17 しかし、あなたは目も心も、不正な利益のためにのみ用い、

罪なき者の血を流そうとし、

圧倒と暴虐を行おうとする。」。

シャルム エジプトへ
不正なさばき

24 「主は言われる、私は生きています。ユダの王エホヤキムの子コニヤが、私の右手の指輪であつても、私はあなたを抜き取る。」

25 あなたの命を求めめる者の手、あなたがその顔を恐れる者の手、すなわち**バビロンの王ネブカデレザルの手**、カルデヤびとの手にあなたを渡す。

26 私は、あなたと、あなたを産んだ母を、あなたがたの生れた国でない他の国に追いやる。あなたがたはそこで死ぬ。」

27 彼らが帰りたいとせつに願う国に、彼らは再び帰ることができない。」

28 この人コニヤは、卑しむべき、こわれたつばであらうか、

だれも心に留めない器であらうか。

なぜ彼とその子孫は追いやられて、

知らない地に投げやられるのか。

29 ああ、地よ、地よ、地よ、

私の言葉を聞けよ。

30 主はこう言われる、

「この人を、子なき人として、

またその一生のうち、

栄えることのない人として記録せよ。

その子孫のうち、ひとりも栄えて、

ダビデの位にすわり、ユダを治めるものが再び起らないからである。」。

エホヤキム エジプトへ
ネブカデレザルの手に

1 主は言われる、「わが牧場の羊を滅ぼし散らす牧者はわざわいである。」

2 それゆえイスラエルの神、主はわが民を養う牧者についてこう言われる、「あなたがたは私の群れを散らし、

これを追いやつて顧みなかった。見よ、私はあなたがたの悪しき行いによつてあなたがたに報いると、主は言われる。」

3 私の群れの残つた者を、追いやつたすべての地から集め、再びこれをそのおりに帰らせよう。彼らは子を産んでその数が多くなる。」

4 私はこれを養う牧者をその上に立てる、彼らは再び恐れることなく、またおののくことなく、いなくなることもないと、主は言われる。」

5 主は仰せられる、見よ、私がダビデのために一つの正しい枝を起す日がくる。彼は王となつて世を治め、栄えて、公平と正義を世に行う。」

6 その日ユダは救を得、イスラエルは安らかにいる。その名は「主はわれわれの正義」となえられる。」

7 主は言われる、それゆえ見よ、人々は「イスラエルの民をエジプトの地から導き出された主は生きておられる」とまた言わないで、

8 「イスラエルの家の子孫を北の地と、そのすべて追いやられた地から導き出された神は生きておられる」という日がくる。その時、彼らは自分の地に住んでい

正義を行なう
牧者を起さう

18 それゆえ、主はユダの王ヨシヤの子エホヤキムについてこう言われる、「人々は『悲しいかな、わが兄、』
 「悲しいかな、わが姉」と言つて、
 彼のために嘆かない。
 また『悲しいかな、主君よ、』
 「悲しいかな、陛下よ」と言つて嘆かない。
 19 ろばが埋められるように、彼は葬られる。
 引かれて行つて、
 20 「レバノンに登つて呼ばわり、
 パシヤンにあなたの声をあげ、
 アバリムから呼ばわれ。
 あなたの愛する者がみな滅ぼされるからだ。
 21 あなたの榮えていた時、私はあなたに語つたが
 「聞きたくはない」と言つた。
 あなたが私の声に聞き従わないことは、
 あなたの幼い時からの、ならわしであつた。
 22 あなたの牧者はみな、風に追い立てられ、
 あなたの愛する者は捕え移される。
 その時、あなたは自分のもろもろの悪の悪のため
 恥じ、うろたえる。」

23 レバノンに住み、

香柏の中に巣をつくつている者よ、

子を産む女に臨む苦しみのような苦痛が

あなたに臨むとき、

あなたはどんなに嘆くことであらうか。」。

ユダ王 (エホヤキム) エジプトへ
エホヤキム (エホヤキム) エジプトへ

エホヤキム
南にエジプトへ



主の名におこ
偽りの預言者

主のことはか
重荷

25 わが名によって偽りを預言する預言者たちが、「私は夢を見た、私は夢を見た」と言うのを聞いた。
 26 偽りを預言する預言者たちの心に、いつまで偽りがあるのであるか。彼らはその心の欺きを預言する。
 27 彼らはその先祖がバアルに従ってわが名を忘れたように、互に夢を語って、私の民にわが名を忘れさせようとする。
 28 夢をみた預言者は夢を語るがよい。しかし、私の言葉を受けた者は誠実に私の言葉を語らなければならない。わらと妻とをくらべることができようかと、主は言われる。
 29 主は仰せられる、私の言葉は火のようではないか。また岩を打ち砕く錘のようではないか。
 30 それゆえ見よ、私は私の言葉を互に盗む預言者の敵となると、主は言われる。
 31 見よ、私は、「主は言いたもう」と舌をもつて語る預言者の敵となると、主は言われる。
 32 主は仰せられる、見よ、私は偽りの夢を預言する者の敵となる。彼らはそれを語り、またその偽りと大言をもって私の民を惑わす。私が彼らをつかわしたのではなく、また彼らに命じたのではない。それで彼らはこの民にすこしも益にならないと、主は言われる。
 33 この民のひとり、または預言者、または祭司があなたに、「主の重荷はなんですか」と問うならば、彼らに答えなさい、「あなたがたがその重荷です。そして主は、あなたがたを捨てると言っておられます」と。
 34 そして、「主の重荷」と言うその預言者、祭司、または民のひとりを、その家族と共に私は罰する。
 35 あなたがたは、みな互に、隣りに、また兄弟に、こう言わなければならない、「主はなんと答えられましたか」、「主はなんと言われましたか」と。
 36 しかし重ねて「主の重荷」と言ってはならない。重荷は人おのの自分の言葉だからである。あなたがたは生ける神、万軍の主なるわれわれの神の言葉を曲げる者である。
 37 あなたは預言者にこう言わなければならない、「主はあなたになんと答えられましたか」、「主はなんと答えられましたか」と。
 38 もしあなたがたが「主の重荷」と言うならば、主はこう仰せられる、「私が人をあなたがたにつかわして、あなたがたは「主の重荷」と言ってはならないと言わせたのに、あなたがたは「主の重荷」という言葉を使ったので、
 39 私は必ずあなたがたを捕え移させ、あなたがたとあなたがたの先祖とに与えたこの町と、あなたがたとを、私の前から捨て去る。
 40 そして、忘れられることのない永遠のほすかしめと永遠の恥を、あなたがたにこうむらせる」。

24
主の重荷
主の重荷

1 バビロンの王ネブカデザルがユダの王エホヤキムの子エコニヤおよびユダの君たちと工匠と鍛冶をエルサレムからバビロンに移して後、主は私にこの幻をお示しになった。見よ、主の宮の前に置かれていいるいちじくを盛った二つのかごがあった。
 2 その一つのかごには、はじめて熟したような非常に良いいちじくがあり、ほかのかごには非常に悪くて食べられないほどの悪いいちじくが入れてあった。
 3 主は私に、「エレミヤよ、何を見るか」と言われた。私は、「いちじくです。その良いいちじくは非常によく、悪いほうのいちじくは非常に悪くて、食べられませんが」と答えた。
 4 主の言葉がまた私に臨んだ、
 5 「イスラエルの神、主はこう仰せられる、この所からカルデヤびとの地に追いやつたユダの捕われ人を、私はこの良いいちじくのように顧みて恵もう。
 6 私は彼らに目をかけてこれを恵み、彼らをごの地に返し、彼らを立てて倒さず、植えて抜かない。
 7 私は彼らに私が主であることを知る心を与えよう。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。彼らは一心に私のもとに帰ってくる。
 8 主はこう仰せられる、私はユダの王ゼデキヤとそのつかさたち、およびエルサレムの人の残つてこの地にいる者、ならびにエジプトの地に住んでいる者を、この悪くて食べられない悪いいちじくのようにしよう。
 9 私は彼らを地のもろもろの国で、忌みきらわれるものとし、また私の追いやるすべての所で、はずかしめに会わせ、ことわざとなり、あざけりと、のろいに会わせる。
 10 私はつるぎと、ききんと、疫病を彼らのうちに送って、ついに彼らを私が彼らとその先祖とに与えた地から絶えさせる」。

24
悪いじくは絶え



民を惑す
預言者

23

9 預言者たちについて。わが心は私のうちに破れ、わが骨はみな震う。
主とその聖なる言葉のために、私は酔っている人のよう、酒に打ち負かされた人のようである。
10 この地に姦淫を行うものが満ちているからだ。のろいによって地は嘆き、荒野の牧場はかわく。彼らの道は悪く、その力は正しくない。
11 「預言者と祭司とは共に神を汚す者である。私の家においてすら彼らの悪を見た、主は言われる。12 それゆえ、彼らの道は、おのずから暗黒の中にある。なめらかな道のようになり、彼らは押されてその道に倒れる。私が彼らの罰せられる年に、災をその上に臨ませるからであると、主は言われる。13 私はサマリヤの預言者のうちに不快な事のあるのを見た。彼らはバアルによって預言し、わが民イスラエルを惑わした。14 しかしエルサレムの預言者のうちには、恐ろしい事のあるのを見た。彼らは姦淫を行い、偽りに歩み、悪人の手を強くし、人をその悪から離れさせない。彼らはみな私にはソドムのようなであり、その民はゴモラのようなである。」

神を汚す
サタンの誘惑
信者

23

15 それゆえ万軍の主は預言者についてこう言われる。「見よ、私は彼らに、にがよもぎを食べさせ、毒の水を飲ませる。神を汚すことがエルサレムの預言者から出て、全地に及んでいるからである。」
16 万軍の主はこう言われる、「あなたがたに預言する預言者の言葉を聞いてはならない。彼らはあなたがたに、むなししい望みをいだかせ、主の口から出たのではない、自分の心の黙示を語るのである。17 彼らは主の言葉を軽んじる者に向かつて絶えず、「あなたがたは平安を得る」と言い、また自分の強情な心にしがたって歩むすべての人に向かつて、「あなたがたに災はこない」と言う。」
18 彼らのうちだれか主の議会に立って、その言葉を見聞きした者があろうか。だれか耳を傾けてその言葉を聞いた者があろうか。19 見よ、主の暴風がくる。憤りと、つむじ風が出て、悪人のこうべをうつ。20 主の怒りは、み心に思い定められたことをなし遂げられるまで退くことはない。末の日にあなたがたはそれを明らかに悟る。21 預言者たちは私がつかわざなかつたのに、彼らは走った。私が、彼らに告げなかつたのに、彼らは預言した。22 もし彼らが私の議会に立つたのであれば、その悪い道と悪い行いから、離れさせたであろうに。23 「主は言われる、私はただ近くの神であつて、遠くの神ではないのであるか。24 主は言われる、人は、ひそかな所に身を隠して、私に見られないようにすることができようか。主は言われる、私は天と地とに満ちているではないか。」

神を汚す
預言者



25

マダム、バビロンの捕囚

1 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年（バビロンの王ネブカデレザルの元年）にユダのすべての民についての言葉がエレミヤに臨んだ。

2 預言者エレミヤはこの言葉をユダのすべての民とエルサレムに住むすべての人に告げて言った。

3 「ユダの王アモンの子ヨシヤの十三年から今日にいたるまで二十三年の間、主の言葉が私に臨んだ。私はたゆまずにそれをあなたがたに語ってきたが、あなたがたは聞かなかった。

4 主はたゆまず、そのしもべである預言者を、あなたがたにつかわされたが、あなたがたは聞かずまた耳を傾けて聞こうとしなかった。

5 彼らは言った、「あなたがたはおのおの今その悪の道と悪い行いを捨てなさい。そうすれば主が昔からあなたがたと先祖たちとに与えられた地に永遠に住むことができる。

6 あなたがたは、ほかの神に従って、それに仕え、それを拝んではならない。あなたがたの手で作ったものをもって、私を怒らせてはならない。このようなことをしないなら、私はあなたがたをそこなうことはない」と。

7 しかしあなたがたは私に聞き従わず、あなたがたの手で作った物をもって、私を怒らせて自ら害を招いたと、主は言われる。

8 それゆえ万軍の主はこう仰せられる、あなたがたが私の言葉に聞き従わないゆえ、

9 見よ、私は北の方のすべての種族と、私のしもべであるバビロンの王ネブカデレザルを呼び寄せて、この地とその民と、そのまわりの国々を攻め滅ぼさせ、これを忌みきらわれるものとし、人の笑いものとし、永遠のはずかしめとすると、主は言われる。

10 また私は喜びの声、楽しみ声、花婿の声、花嫁の声、ひきうすの音、ともしびの光を彼らの中に絶えさせよ。

11 この地はみな滅ぼされて荒地地となる。そしてその国々は七十年の間バビロンの王に仕える。

70年の荒廃と
国々への憤りのぶどう酒の杯

12 主は言われる、七十年の終つた後に、私はバビロンの王と、その民と、カルデアびとの地を、その罪のために罰し、永遠の荒地地とする。

13 私はあの地について、私が語つたすべての言葉をその上に臨ませる。これはエレミヤが、万国のことについて預言したものであつて、みなこの書に示るさされてい

14 多くの国々と偉大な王たちとは、彼らをさええ奴隷として仕えさせる。私は彼らの行いと、その手のわざに従つて報いる」。

15 イスラエルの神、主は私にこう仰せられた、「私の手から、この怒りの杯を受けて、私があなたをつかわす国々の民に飲ませなさい。

16 彼らは飲んで、よろめき狂う。これは私が彼らのうちに、つるぎをつかわそうとしているからである」。

17 こうして私は主の手から杯を受け、主が私をつかわされた国々の民に飲ませた。

18 すなわちエルサレムとユダのすべての町と、その王たちおよびそのつかさたちを飲ませて、それらを滅ぼし、荒地地とし、人の笑いものとし、のろわれるものとした。今日のとおりでである。

19 またエジプトの王パロとその家来たち、その君たち、そのすべての民と、

20 もろもろの寄留の異邦人、およびウズの地のすべての王たち、およびペリシテびとの地のすべての王たち、（アシケロン、ガザ、エクロン、アシドドの残りの者）、

21 エドム、モアブ、アンモンの子孫、

22 ツロのすべての王たち、シドンすべての王たち、海のかなたの海沿いの地の王たち、

23 デダン、テマ、ブズおよびすべて髪の毛のすみずみをそる者、

24 アラビヤのすべての王たち、荒野の雑種の民のすべての王たち、

25 ジムリのすべての王たち、エラムのすべての王たち、メデアのすべての王たち、

26 北のすべての王たちの遠き者、近き者もつぎつぎに、またすべて地のおもてにある世の国々の王たちもこの杯を飲む。そして彼らの次にバビロンの王もこれを飲む。

27 「それであなたは彼らに言いなさい、『万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、飲め、酔つて吐け、倒れて再び立つな、私があなたがたのうちにつるぎをつかわすからである』」。

28 「もし彼らがあなたの手から杯を受けて飲むことをしないならば、あなたは彼らに言いなさい、『万軍の主はこう仰せられる、あなたがたは必ず飲まなければなら

ない。

29 見よ、私の名をもつて呼ばれるこの町にさえ災を下すのだ。どうしてあなたがたが罰を免れることができようか。あなたがたは罰を免れることはできない。私がつるぎを呼び寄せて、地に住むすべての者を攻めるからであると、万軍の主は仰せられる」。

国々、怒りの杯、サタン



30 それゆえ、あなたは彼らにこのすべての言葉を預言して

言いなさい、「主は高い所から呼ばわり、

その聖なるすまいから声を出し、

自分のすみかに向かつて大いに呼ばわり、

地に住むすべての者に向かつて

ぶどうを踏む者のように叫ばれる。

31 叫びは地の果にまで響きわたる。

主が国々と争い、

すべての肉なる者をさばき、

悪人をつるぎに渡すからであると、主は言われる」。

32 万軍の主はこう仰せられる、

見よ、国から国へ災が出て行く。

大きなあらしが地の果からおこる。

33 その日、主に殺される人々は、地のこの果から、かの果

に及ぶ。彼らは悲しまれず、集められず、また葬られ

ずに、地のおもてに糞土となる。

34 牧者よ、嘆き叫べ、

群れのかしらたちよ、灰の中にまろべ。

あなたがたのほふられる日、

散らされる日が来たからだ。

あなたがたは選り分けられた雄羊のように倒れる。

35 牧者には、のがれ場なく、

群れのかしらたちは逃げる所がない。

36 牧者の叫び声と、

群れのかしらたちの嘆きの声が聞える。

主が彼らの牧場を滅ぼしておられるからだ。

37 主の激しい怒りによって、

平和な牧場は荒れていく。

38 ししのように彼はその巢を出た。

主のつるぎと、その激しい怒りによって、

彼らの地は荒れ地となった」。

